

## 今年も相馬へ「富山米」を届ける（支援米報告）

い土地である。

寄せられた支

去る十一月七日から十日にかけて、西本願寺高岡会館において支援米の受付・仕分け作業が行われ、教区内寺院四十八ヶ寺、門信徒三百七十八名、関係団体十一単位より計五・九トンの支援米が寄せられた。

援米は仏教壮年会会員・門徒推進員によって五キロごとに袋詰めされ、全村避難中の飯館村の人たちが暮らす仮設住宅や東北教区相馬組寺院を通じて避難生活中の門信徒の方々に届けられた。

に大きな負担を強いられており、四年近い時間が問題をさらに複雑化・深刻化させている。このような状況を鑑みると、今後も継続的な支援が必要であると思われる。

この支援米事業は東日本大震災とそれに伴う原発事故で被災した福島県の相馬地域の避難生活中の門信徒及び有縁の方々への支援として震災の発生以来毎年行われ、今年で四回目。相馬地域は約二〇〇年前の相馬藩時代に飢饉によって人口が半減したため、復興のために富山県の呉西地区、特に砺波地域から多くの門信徒が真宗僧侶の斡旋によって密かに

高岡教区では他にも関係各団体による支援活動が行われており、寺族青年会が宮城県内で草刈りや田畑の土中の瓦礫を撤去するボランティア活動を、寺院女性会連盟は飯館村の仮設小学校に通う児童に対し富山県産の野菜やチューリップの球根を送る活動を（詳細は別紙）、仏教婦人会連盟は独自に支援米を集め、津波による被害で多くの犠牲者を出した宮城県閉上地区の仮設住宅へ支援米を届ける活動を続けている。

高岡教区では十二月二十五日から二十七日にかけて、第十五次支援班を派遣し、今まで夏休みホームステイやありがたいいたてタオル等で交流のある国見飯館・吉倉宿舎・松川第二仮設（ともに飯館村関連の仮設）を訪問し、餅つきを行い交流を深める活動を企画している（詳細は別紙）。申込みは高岡教務所（〇七六六・三二〇八八七担当：岡西）まで。



移住し、復興に大いに貢献したと伝えられる場所、今もその子孫の方が多く住んでおられる、高岡教区と縁の深

福島県では長期化する避難生活によって体調を崩し、それが原因で亡くなる「震災関連死」が震災の直接の死者数を超える事態となり、また、時間の経過による震災への関心の低下が無理解と偏見を生み出し、避難生活を送る方が白眼視されたり、仮設住民と周辺住民との関係に軋轢が生じているという問題も起こっている。不自由な避難生活以外にも心身とも

## 得度習礼講習会受講義務化について

得度習礼について、平成27年4月以降の得度式受式予定者については、「習礼を受けようとする者は、別に定める場合を除き、事前に得度習礼講習会を受講しなければならない」との規程が制定されました。

つきましては、別紙案内状の通り実施いたしますので、よろしくごお願い申し上げます。

親鸞聖人を語る夕べを開催 ～ 会館報恩講前日 ～

今年も十一月二十五・二十六日の両日、会館報恩講が営まれ、初日の夕方には教化団体合同によるお初夜「親鸞聖人を語る夕べ」が開催され、約七十名が参加された。

この「語る夕べ」は会館が建てられた二年後の一九九四年から催されているもので、その趣旨として「報恩講の意義を考慮した企画を盛り込み、会館や寺院にこられることの少ない方々（特に青壮年層）への参加呼びかけの機縁とする」ことが目指されている。最初に、宗祖讃仰作法による音楽法要が勤められ、西岡教務所長の導師のもと、正信偈が唱えられると、参拝された方々も一緒にお勤めされる姿が多く見られた。

続いて、津山玄亮氏（系岡組願称寺住職 右下写真）から「親鸞聖人の



ご生涯から学ぶ」というテーマで講演が行われた。津山氏は、インドや平安時代の日本の社会状況の中での仏教や僧侶の位置づけ等を説明されたうえで、「法然上人は当時の仏教の常識

では救いの目当てから外されて

いるような人間

のために阿弥陀

様が選択された

のが専修念仏と

説かれた。その専修念仏の教団が弾圧され、親鸞聖人は『非

僧非俗』を名乗られた。私たちはその精神に立ち返られな

くてはいけない」と話された。

今後この「親鸞聖人を語る夕べ」では、伝統的な法座

の形態にこだわらない新しい法座のあり方を模索して、社

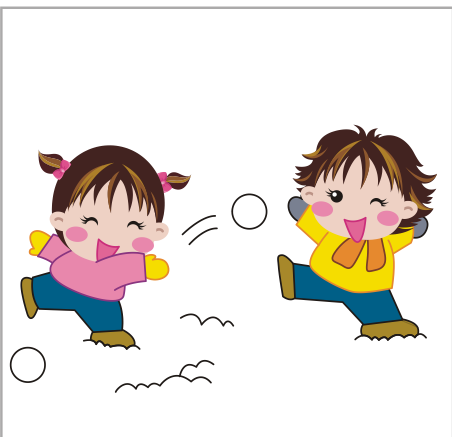
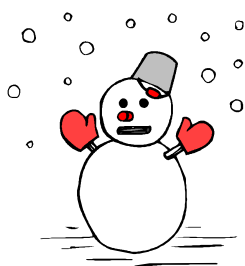
会にある様々なテーマを取り上げていきたいとしている。

また、翌二十六日には、各組からの法中出勤のもと午前・

午後と報恩講が、講社連盟の講員の方々など百三十名の方

が参拝されるなか勤められ、栗山宣雄氏（川上組本福寺住

職）のご法話を聴聞された。



仏婦ダーナ募金のご報告

教区仏婦連盟では、今年のダーナ募金の集金を12月8日（月）におこない、657,083円が集まりました。

集まった募金は、協議の上、長野教区及び更生保護施設であります、西本願寺白光荘へ寄付される予定です。

ご協力くださったみなさまに厚く御礼申し上げます。

合掌

平成26年度

教区賦課金(後期分)納入について

5月当初にお知らせ致しました告知書の通り今年度の教区賦課金（後期分）の納入期限は12月25日（木）迄となっています。できるだけ早期の納入をお願い致します。

## 御同朋の社会をめざす運動の「コーナー」

### 御同朋の社会をめざして選挙に行こう！

衆議院選挙が目前です。個人的には、未だに解散の理由については全く理解が出来ませんが、かといって選挙に行かないという理由にはなりません。

ご承知のように、男女の別なく二十才以上の日本国民全員が持つ現在の選挙権は、先の戦争が終った翌年に憲法のなかで定められました。それは三百万人もの犠牲者を出した戦争への反省、つまり不公平で差別的な政治制度によって戦争が起こるのだという反省からであったに違いありません。

「誰がなつても一緒」「棄権することが政治不信の意思表示」と言う声がたまに聞かれますが、それは無条件の白紙委任と同じであり、また選挙権を獲得するために払った先人の尊いご苦労や努力を貶めることであると思わざるを得ません。また、票を投じたからといってその議員に「おまかせする」ということでもありません。その議員や政党を選んだ私たちにも後々、責任が問われることと思います。特に、今の政治課題には医療や福祉、年金やエネルギー政策、人権や平和問題など、現在、選挙権を持たない子どもや孫の代まで永く関わる重要な問題が山積みです。私自身は今度の投票がとても重要な機会になると感じています。

さて、実はこの二年の間、「御同朋の社会をめざす運動」高岡教区委員会の諸活動においても、様々にこの「政治的課題」が取り上げられたことを御存知でしょうか？例えば、「憲法改正」（昨年度僧侶研修会）、「原発問題」（昨年度平和を願うつどい）、「沖縄基地問題」（本年度全戦没者を悼み平和を願うつどい）などをテーマとして研修が行われてきましたし、この「コーナー」や教区計画書では、その都度「格差社会」や「特定秘密保護法」「集団的自衛権」などを取り上げてきました。それは、単に「社会的な問題として取り上げた」

ということではなく、「念仏の教えに生きる上で看過出来ない問題」としての提起でありました。

「しかるに愚禿釈の鸞、建仁辛酉の曆、雑行を棄てて本願に帰す」（顕淨土真実教行証文類）

親鸞聖人がこの決意を述べられたのは、自身と師である法然上人が流罪にあい、また仲間二人が処刑された「承元の法難」と深く関係しています。「承元の法難」とは、世俗権力である後鳥羽上皇と土御門天皇、そして宗教的権威であった興福寺の学徒が、末法の世に真実の教えを説き広め興隆していた「真宗」を弾圧したという大事件でした。

何故、弾圧されたのか？それはその「真実の教え」が、権力や権威の側にとって「不都合なもの」であったからに他なりません。親鸞聖人はその弾圧を「主上臣下、法に背き義に違し、忿りを成し怨みを結ぶ」と厳しく批判され、「非僧非俗」を名告りその生涯を送られます。


一方で、本願寺教団はその長い歴史において権力や権威に追従・加担・協力してきたという事実がありますが、その行為は信心を捨てることに等しく、深く懺悔されます。

「政治に無関心な人がいても、政治に無関係な人はいない」という言葉があります。私たちが、今、自由に信仰を持てるのも、自由に言論、表現できるのも、その権利を「政治」のなかで獲得してきたからです。

念仏の教えを頂き、私自身が御同朋の社会をめざすため、選挙に参加したいと思います。

【高岡教区主幹 浜野信宏】

これからの日程 ( 1 2 / 2 0 ~ 1 / 2 0 )

12月		
20	仏のこどものつどい	
22		富山解放連研修会 ( ~ 富山東別院 )
24	長寿苑ビハーラ活動	
25	教区第 1 5 次支援班 ( ~ 2 7 ・ 福島 )	1 2 月 2 7 日 の 午 後 よ り、 1 月 7 日 まで、 教務所事務休業いた します。
27	午後から事務休業 ( ~ 7 日 まで )	
31	除夜会 ( 本山 ・ 井波別院 ・ 福光教堂 )	
1月		
1	元旦会 ( 本山 ) 修正会 ( 井波別院 ・ 福光教堂 )	
7	雨晴苑ビハーラ活動	
8	教務所事務開始	親鸞聖人御正忌報恩講 ( ~ 1 6 日 ・ 本山 )
9		
10	中仏生のつどい	1 月 1 4 ~ 1 6 日 まで、親鸞聖人御正忌 報恩講のため教務所 事務休業いたします。 ( 常例法座は御座 います )
14	常例法座	
15	事務休日 ( ~ 1 6 日 )	
16		
17	中仏生のつどい	
20	教区新年会 教区コーラス練習日	

ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 ( K N B ) ・ 7 3 8 k H z .  
毎 週 土 曜 日 ( 本 山 制 作 ) 午 前 6 : 1 5 ~ 6 : 2 5  
第 2 ・ 4 日 曜 日 ( 富 山 ・ 高 岡 制 作 ) 午 前 6 : 0 0 ~ 6 : 1 0

- 12 / 1 3 ( 土 ) : 葛 野 洋 明 氏 ( 龍 谷 大 学 教 授 )  
「 し あ わ せ の 基 準 」
- 12 / 1 4 ( 日 ) : 富 永 誠 氏 ( 高 岡 教 区 ・ 本 龍 寺 )
- 12 / 2 0 ( 土 ) : 葛 野 洋 明 氏 ( 龍 谷 大 学 教 授 )  
「 し あ わ せ と は 何 か ? 」
- 12 / 2 7 ( 土 ) : 葛 野 洋 明 氏 ( 龍 谷 大 学 教 授 )  
「 わ た し 1 人 で は 生 き ら れ な い 世 界 」
- 12 / 2 8 ( 日 ) : 未 定 ( 高 岡 教 区 )
- 1 / 3 ( 土 ) : 葛 野 洋 明 氏 ( 龍 谷 大 学 教 授 )  
「 わ た し の 有 様 が 問 わ れ る 」
- 1 / 1 0 ( 土 ) : 石 上 智 康 氏  
( 浄 土 真 宗 本 願 寺 派 総 長 )  
「 年 頭 の 挨 拶 」
- 1 / 1 1 ( 日 ) : 仲 尾 信 博 氏 ( 富 山 別 院 輪 番 )
- 1 / 1 2 ( 土 ) : 丘 山 願 海 氏  
( 浄 土 真 宗 本 願 寺 派 総 合 研 究 所 東 京 支 所 長 )

【西本願寺高岡会館1月の常例法座】

ご講師： 青 木 哲 隆 氏  
( 高 岡 教 区 ・ 覺 円 寺 )

ご講題： 『 未 定 』

午後 1 時 2 0 分 頃 から ビ デ オ 上 映、 2 時 から  
お 正 信 偈 六 首 引 の お 勤 め で す。 ど う ぞ お 誘 い  
あ わ せ て お 参 り く だ さ い。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。  
FAX. での申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。  
一袋二枚入りで価格は次の通り  
一袋二枚入りで価格は次の通り  
・特大箱 ( 1 7 5 袋 ) 8 , 3 0 0 円  
・大 箱 ( 3 6 袋 ) 2 , 3 0 0 円  
・ 1 組 ( 1 0 袋 ) 5 0 0 円  
お申し込み先は・・・〒933 - 0003 高岡市能町 1 2 9 8  
耳浦 康真 ( 本誓寺 ) Tel. & Fax. ( 0766 ) 23 - 9822

編集後記

二〇一四年も残すところ、あと僅か一ヶ月となりました。皆様にとって今年はどういう年だったのでしょうか。この時期になると、今年の漢字一文字が清水寺で発表されますが、どの漢字になるのでしょうか。ちなみに、昨年は「輪」、一昨年は「金」という漢字でした。

今年を振り返ってみますと、自然災害の多い年であったように思います。特に御嶽山の噴火が衝撃的でした。改めて自然の驚異を感じたことがあります。自然の猛威に対して、私達が、どうすることも出来ないことはわかってはいるのですが、できることなら避けたいものです。

来年のこの時期には、「今年も、地震や長雨・大雪等の自然災害がなかった年であったな」と言えるように、願わずにはおられません。皆様、良い年をお迎えください。